

1. 開催年月日 平成 27 年 5 月 15 日 (金) 13 時 30 分～15 時 00 分
2. 開催場所 岐阜県可児市広見七丁目 90 番地
株式会社ケーブルテレビ可児 会議室
3. 出席委員数 6 名 (欠席 2 名)
4. 事業者側出席者数 3 名
5. 議 題 1. 番組試聴および審議
2. 放送番組全般について

6. 審議内容

1. 番組試聴および審議

次の番組を試聴し、審議した。

5 月 2 日 (土) 10:00～10:15

「可児の魅力発見」(ららサタデー内コーナー)

提供：可児市

パーソナリティ：涼夏、ジュニア

ゲスト：里山クラブ可児 村松弘二

- ・話し手それぞれの音のバランスが悪く、聴きたいところがよく聴こえなかった。
- ・可児の魅力として何を伝えたいのか、要点が話し手全員の中で共有されていないので、話にまとまりが感じられない。パーソナリティがゲストの発言を再度伝える等、リスナー理解のための工夫が必要。
- ・ゲストは話上手な方が選ばれているので、尚更、事前に要点を押さえた打ち合わせや内容の整理をしておくべき。
- ・終わりよければ全て良し。後半はインタビュアーの役割は無事果たされており、お疲れ様という気持ちで聴いた。あえて台本を用意しない魅力が感じられ、新しい観点で鳩吹山の登り方を教えてもらった。前半はゲストが話し終わる前にパーソナリティが言葉をかぶせてしまっていたが、後半は相槌も抑えられ、村松さんの話をじっくり聴くことができた。
- ・パーソナリティは 4 年目を迎えるに当たり、ステップアップが求められる。相手の話に合わせてられるスキルが必要。村松さんの話すテンポと内容に適した進行や聴き方ができると良い。
- ・私は鳩吹山に登ったことがないので、どのような話か楽しみにしていたが、初心者にはわかりにくかった。里山の話をもっと聴きたい。
- ・本題に入るまでが長く、内容がつかめない。ゲスト、パーソナリティともにテンションが高いので聴いていて疲れてしまう。話のポイントは押さえていたので、もう少し内容を詰めると思う。
- ・土田生まれ土田育ちなので、数々の思い出がある鳩吹山を取り上げてもらったのは嬉しかった。だからこそ、紹介すべき点について皆でコンセンサスをとっておかなかったために、所々で話が逸れてしまっているのが勿体ないと思った。

5月11日(月) 7:00~9:00

「モーニングライン月曜日」

パーソナリティ：大川実音吏、堀江可純

- ・実音吏さんはいつも聴きやすい。混乱しても終わりをきちんと収めるところが素晴らしい。
- ・ハッピー占いは可純さんも慣れてきた様子で、カラーが定着してきた。しかし、その一週間前の番組で時刻のお知らせを繰り返し間違えていたので、落ち着いて正確に伝えられるよう。日頃から心の準備をしながら臨んでほしい。
- ・ゆったりとして聴きやすい。
- ・実音吏さんの番組はよく聞く。絵本のセレクトなど、趣向を凝らしておりおもしろい。番組内で個人的な活動報告が多いのが気になる。
- ・かすみんは言葉が途中で話が止まってしまうときがあり心配していたが、最近は「かすみん頑張れ」とお母さんのような気持ちで聴いている。成長を願っている。
- ・大川さんは聴きやすく、とても印象に残りいいなと思っている。可純さんは最初の頃緊張してやっていたが、最近は落ち着いてきていいと思う。短い通勤時間中に聴いていると音楽の間に勤務先へ着いてしまうのが残念。
- ・可純さんは非常に素朴な語り口で、よくある芸人のような話し方よりもずっと好感が持てる。応援していきたいと思う。朝に聴くと眠くなってしまう口調なので、夜の方がゆったり聴けるのでは。この時間帯は情報が欲しい。

2. 放送番組全般について

- ・サイマル放送をスマートフォンで聴いてみた。ある日、緊急情報が文字情報で届いて感動した。
- ・無意識に聴いていたFMららの番組が、NHKよりも印象が良くて驚いた。関係者の努力によって、洗練されてきたことを大変嬉しく思う。
- ・朝に、当日の地域イベント情報を放送できないか。
- ・マンデーレブンのコンビを感心しながら聴いている。特にトッピーさんの情報収集力は素晴らしく、情報を得たいというニーズに応えている。ネパールで地震があった際、バングラデシュから安藤恵理子さんの現地レポートを交えながら、实际的な支援について実感も込めて呼び掛けており、他では得られない生きた放送番組といった風でハッとした。トッピーさんの話術や知識が生かされ、短時間でも無駄がなく、FMららでこんなことができるんだと嬉しく思った。聴き入ってしまった。拍手を贈りたい。
- ・日中は仕事で聴けないため、夕方の放送も音楽でなく情報があると良い。

以上の意見が出され、全員承知した。